

**令和8年度大学入学共通テスト**

1月17日(土)・18日(日)に行われた「令和8年度大学入学共通テスト」を本校3年(61期)生299人が受験し、今までの学習の成果を存分に発揮してくれました。今後は、国公立大学や私立大学の一般選抜入試に向けて、気持ちを切り替えて受験学習に取り組んでください。今号では、大学入試センターが公表した志願者数等の確定値などを取り上げます。1・2年生の皆さんは、先輩の受験した「大学入学共通テスト」に関する情報をきちんと分析して、自分たちの進路実現に活用してみてください。

【令和8年度大学入学共通テストの志願者数等について】**(1) 志願者数について**

志願者数は、496237人(対前年度比1066人増)

※高等学校等卒業見込者(現役生)420311人

(対前年度比5657人減)

※高等学校等卒業者(既卒者)71310人

(対前年度比6336人増)

(2) 共通テスト利用大学・専門職大学・短期大学・専門職短期大学数について

利用大学・専門職大学・短期大学・専門職短期大学数は、813大学

※昨年度より、私立大学:11減、私立専門職大学:1増、私立短期大学:15減、私立専門職短期大学:1増

【今年度の特徴】

現役高校生の出願は減少しましたが、既卒者が大幅に増加しました。その理由として、第一志望校ではなく合格を優先して進学したことに後悔し、再受験に踏み切る人が増えたと考えられています。

国公立大学の出願について

61期生の皆さんは、国公立大学一般選抜入試(前・中・後期)や私立大学一般選抜入試の出願を済ませたでしょうか。令和8年度国公立大学一般選抜入試の出願は、前期日程・中期日程・後期日程を1月26日(月)～2月4日(水)の期間内に、同時に出願することになります。特に、今年度は、「大学入学共通テスト」の出願方法が電子化され、各大学の一般選抜入試でも例年とは異なる点もあると思いますので、出願先の大学ウェブサイトから出願方法について必ず確認した上で、確実に行ってください。

国公立大学一般選抜入試に向けて

2月に入ると多くの私立大学で一般選抜入試が始まり、25日には、国公立大学一般選抜入試前期日程が行われま

す。特に、国公立大学の受験に向けては、1月に行われた大学入学共通テストと一般選抜入試の結果を合わせた成績等で合否判定が行われることから、入試日までの受験戦略と、それに基づいて作成した受験学習計画の実施が、とても重要になってきます。そこで、受験直前期にぜひ取り組んでほしいことについて、次のようにまとめてみました。参考にしてみてください。

【国公立大学一般選抜前期入試に向けて】**(1) 受験校合格に向けた戦略を立てる****① 一般選抜入試での目標点を設定する**

受験校の昨年度入試における合格者平均点や最低点を調べ、合格するために必要となってくる一般選抜入試での目標点を、大学入学共通テストの自己採点結果や合格者平均点や最低点をもとに考え、その目標達成に向けた約3週間の学習計画を組み立ててみましょう。この目標点が、大学入試当日までのモチベーションになってくれます。なお、合格者の平均点や最低点は、大学のウェブサイト等に掲載されていますので、確認してください。

② 受験校の過去問に数多く取り組む

数多くの過去問に取り組むことで、受験校の出題傾向や難易度がわかってきます。つまり、この取組を確実に行うことで、自らが設定した目標を達成するために「何が必要か」が、明確になってきます。ぜひ、進路資料室を最大限活用して、多くの過去問を収集し、受験日まで突き進んでいきましょう。

③ 達成感を積み重ねる

この入試直前期に現役高校生でよく見られることは、「苦手な問題が出たらどうしよう。」・「知らない問題を解けるようにしておきたい」という不安や焦りから新しい問題集に手を出してしまいがちです。しかし、この時期は「知っている問題を確実に解ける」ことの方が、とても大切です。今まで使用したテキストや模試の問題を徹底的に復習して、「できる」という達成感を積み重ねていくことが、志望校への「合格力」を高めてくれます。特に、10月に行われた記述模試(ベネッセ・駿台、全統)や各大学のオープン模試は、大学入試でよく出題される分野を検討して作成されていますので、何度も解き直すことは重要なことです。

受験対策としての定期考査の重要性

定期考査とは、教科書に載っている内容に基づいた問題で実施されるテストです。つまり、3年生で受験する「大学入学共通テスト」も教科書の内容に基づいて作成されていますので、定期考査に向けてしっかり対策し、テスト返却後の復習を徹底的に行うことは、受験生として高い意識を持っていると言えます。1・2年生の皆さん、2月9日(月)～13日(金)に実施される学年末考査に全力で取り組んでください。

過程 結果 未来 懐古 伝承

3年5組 副担任

入学した時に、あるクラスで私が話したこと。それは5つの「S」についてでした。人の能力にそれほど大きな差はない。では、何が違うのか、それは、高校時代に何をどのくらい頑張っていたかです。

同じゴールを目指す。同じ能力の人ならば、勉強（Study）した方が勝つに決まっています。同じ能力で、同じだけ勉強したならば、スポーツ（Sports）した方が勝ちます。同じ能力で、同じだけ勉強して、同じくらいスポーツしたならば、よく食べる（Stomach）方が勝ちます。同じ能力で、同じだけ勉強して、同じくらいスポーツして、同じくらいよく食べるならば、自分が何をすべきかを意思決定・行動選択（Self-analysis）できる方が勝ちます。同じ能力で、同じだけ勉強して、同じくらいスポーツして、同じくらいよく食べて、同様に自分が何をすべきかを意思決定・行動選択できるならば、魂（Spirit）から自分はそうなるのだと信じて「錐」のようにまっしぐらに突き進む方が勝ちます。（過程）

でも、「5つのS」を完璧に遂行し、勝ち上がった超人的な人間を、私の人生において知る限り、一人も見ることがありません。みんな自分の置かれた環境で、精一杯努力を重ねながら、何かしら悔いを残し、「今」に至っています。しっかり「今」の自分を受け止めてください。教室に掲げられたカウントダウンと同級生の頑張りを見て、焦ったり、涙したりした夜もあるでしょう。そんな中でも、遅くまで学習室でペンを走らせる皆さんの姿に感動しました。その結果、第一志望に届く人もいれば、予想外の道へ進む人もいるでしょう。けれども、どの道に進んだかではなく、「その道でどう生きるか」がもっと大事なのです。（結果）

人生の節目の一つ「受験」だって、ゴールではなく、ただの通過点です。点と点を結んでできる「人生の線」は、その点に向かっていく時点では、線ではないのです。振り返ってみて、初めて、そこまでの、「人生の線」になるのですから、「その選んだ道でどう生きるか」で、そこまでの「正解」を導き出し、自分の未来を切り拓いてください。（未来）

卒業して鹿児島中央高校の門を出たら、もう進路希望調査はありません。あなた自身が、築いていく、真っ白な人生が始まります。先生たちは君たちのチャレンジを誇りに思っていて応援しています。そして、何年か経って、そういえば、「進路相談で泣かされたっけ。」「団訓厳しかったなあ。」「あの教室で・・・。」「部活の後輩は・・・。」などと懐かしい思いを感じたら、いつでも帰ってきてください。常に鹿児島中央の門は開かれています。一緒に語らいましょう。（懐古）

さらに何年か経って、今度は自分の子どもが、高校受験をするときが来るかもしれません。そのときには、鹿児島中央高校の誇るべき環境、そこで学び、社会で大活躍されている先輩たち（国内体験学習でたくさんの先輩に出会いましたね。）や、同じ学び舎で同じ時を過ごし、現在頑張っている同級生、そして、何より、自分の高校時代を顧みて下さい。そして、「鹿児島中央ってどう？」と岐路に立っているわが子に尋ねられたら、自信をもって、おすすめできる、そんなふうに、高校生活を締めくくってほしいです。（伝承）